

「私たちの立っている恵み」

・はじめに

- ・パウロの回心とは
- ・その後は、

・本文

1. 信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和をもっています。(1節)
    - ・神はかかわりを望まれる。
      - ・歴史的な神とは、一また旧約で、燃える柴でモーゼに会われたとはなにか？
    - ・救われる神
      - ・神の家族となるとは？VS 個人的な救いではない
    - ・平和を持つ。平和とは？
  2. いま私たちの立っているこの恵みに信仰によって導き入れられた私たちは、神の栄光を望んで大いに喜んでいきます。(2節)・そればかりでなく、艱難さえも喜んでいきます。(3節)
    - ・変える神
      - ・燃える柴と聖霊の働き
    - ・私たちは礼拝をどう考えるか、
      - ・主の臨在…
      - ・主を賛美する…
  3. 私たちのために今や和解を成り立たせてくださった私たちの主イエス・キリストによって、私たちは神を大いに喜んでいるのです。(11節)
    - ・和解と教会での学び(教育)
      - ・この世的な発想の代表なもの
        - ・「存在と時間」ハイデッガー 時間が必要ということ、しかし得られない。
        - ・「精神現象学」ヘーゲル 人間主義的な成長にとらわれた生き方
    - ・和解と伝道
      - ・キリストの弟子に導く(伝道)
      - ・そして、必要な学びをする(教会訓練)  
(自分を捨て、自分の十字架を負って、我に従え)
- ・終わりに
- ・神の愛と恵み

